

## クワイア・フェスティバル 2018

バーバラ・ブルーンズ氏を迎えての「クワイア・フェスティバル」では、英米で教会音楽を学ぶ際のスタンダードとなる「唱詠晩禱 Choral Evensong」で歌われるアンセムを課題曲に取り上げ、2日目の「レクチャーと音楽」で演奏します。

- 曲目**
- R. ファラント：Call to remembrance (混声)
  - H. ハウエルズ：Like as the hart (混声)
  - E. シーマン：How lovely are Thy dwellings fair (女声)

## バーバラ・ブルーンズ / Barbara Bruns

マサチューセッツ州アンドーヴァーのクライスト・チャーチ音楽主事を務める傍ら、ボストン・セシリア合唱団のアソシエイト・コンダクター、ジェイムズ・トンプソン・ブラス・アンサンブルのオルガニストとしても活躍。独奏者、伴奏者、指揮者として、欧米、日本で幅広く演奏活動を行っている。ニューイングランド音楽院では予備科および継続教育プログラムでオルガンを教えるほか、音楽家のための指導者プログラムの全米会長、ニューヨークのリーダーシップ・テクノロジーズのトレーニング・ディレクターとして、後進の指導に当たっている。マサチューセッツでは、ボストンのオールドウェスト・オルガン協会理事、グロスターの聖ヨハネ聖公会教会音楽監督、マーブルヘッドの聖ミカエル教会及びウェストボロの聖ステファン教会オルガニスト兼コーラスマスターとして奉仕しているほか、ペンシルヴァニア州ホホワイトマーシュの聖トーマス教会、マンハッタンの聖ミカエル教会でも同様のポストに就いている。



日本生まれ。札幌、苫小牧及び東京にて、ピアノとパイプオルガンの初期教育を受ける。オーガスタナ・カレッジからオルガン演奏で学士の学位を優等で、ニューイングランド音楽院からオルガン演奏で修士の学位を優等で授与される。林佑子、ドナルド・ティーターズ、トム・R・ハリス、アルトゥール・ポイスター、ハラルド・フォーゲルの各氏に師事。

近年、ボストン近郊の3台のフィスク社製オルガンでジェイムズ・トンプソン・ブラス・アンサンブルとの共演による録音を完成させたほか、ニューヨークの聖ミカエル教会にあるルドルフ・フォン・ベッケラートのオルガンでトロンボーン奏者フィリップ・スワンソンとも録音を行い、いずれもMSRクラシック・レーベルよりリリースされた。

## 交通のご案内 | 【フェリスホール】

〒231-0862 横浜市中区山手町 52

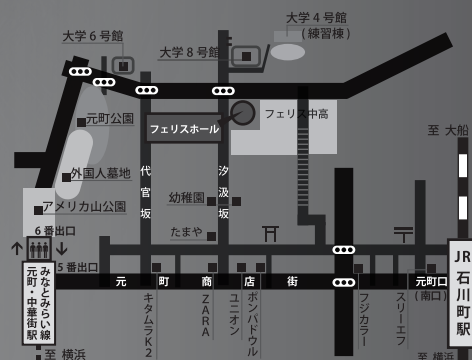
・JR 京浜東北根岸線『石川町』駅 元町口(南口)より徒歩 10分

・みなとみらい線『元町・中華街』駅

5番出口より徒歩 10分、6番出口より徒歩 15分

\*当ホールには駐車場がございません。

お車でお越しの際はお近くのコインパーキングをご利用ください。



オルガンと歌うよるこび